

地域政策論

担当者 石川 雄一

開講時期 前期

単 位 2

●講義の概要

地域政策は、地域の課題や格差を解消するために、地域をデザインする方策です。その在り方はそれぞれの地域の特性や時代の変化によって異なります。講義では、まず地域とは何かを正しく理解し、時代や地域の変化から、これまでどのような政策がとられてきたのか、また市民意識の変化から政策立案の手法がどのように変化してきたのかを、国内の事例を中心に紹介し、講義します。本講義では「地域政策」という用語のうち、「地域」に重点を置いて、主として地理的なアプローチから講義していきます。

●講義の到達目標

- ① 地域の概念とは、地域とはどういうものから構成されるのか。
 - ② 地域政策とはどういうものか。
 - ③ 国内外を含めて地域はどのように変容したか。
 - ④ 地域の変容や時代の流れによって地域政策がどう変化したか。
- 上記の4点の理解にむけて講義を進めます。

●講義計画

- 第1回：地域政策と地域問題－地域政策とは、地域問題とは
第2回：地域の概念－地域とは、形式地域と実質地域
第3回：地域政策の歴史－先進国の事例を中心に（第1回レポート課題）
第4回：日本における地域構造の変化－国内人口の変化：東京一極集中、高齢化
第5回：日本における地域構造の変化－産業構造の変化：脱工業化
第6回：日本における地域構造の変化－都市システム
第7回：日本における地域構造の変化－商業と都市構造
第8回：日本の地域政策－戦前期から高度経済成長期
第9回：日本の地域政策－高度経済成長期以降（第2回レポート課題）
第10回：都市圏政策、地方の政策－大都市圏、定住圏
第11回：総合計画と総合戦略－人口減少社会の新たな課題
第12回：市町村合併－昭和の大合併から平成の大合併、連携中枢都市圏構想
第13回：まちづくりの動向－住民協働、パートナーシップ、NPO
第14回：コンパクトシティー歩いて暮らせるまちづくり（第3回レポート課題）
第15回：まとめ－データマップ・各種マップから地域政策を振り返る

●成績評価基準と方法

授業への参加度とレポートの内容により総合的に評価します。
評価の割合は、
授業への参加度：30%
レポートの内容：70%
レポートの提出回数は3回、提出予定時期は上記の講義計画に記載のとおり。レポートの課題は、講義内容についての①感想、②興味をもったこと、③意見と質問です。第3回のレポートは、受講生が調べたことも含めます。

●テキスト又は参考文献

[テキスト]

使用しない。資料を配布する。授業時にビデオ教材も使用する。

[参考文献]

- ・阿部和俊・山崎亮著『変貌する日本のすがた－地域構造と地域政策』古今書院、2004年（2,300円）
- ・山川允夫編著『日本経済と地域構造』原書房、2014年、(3,500円)
- ・戸所隆著『地域政策学入門』古今書院、2000年（2,400円）
- ・藤井正、光多長温・小野達也・家中茂編著『地域政策入門-未来に向けた地域づくり』ミネルヴァ書房、2008年（3,000円）

●受講上の留意点

テキストは用いませんが、授業開始前にあらかじめ資料を配布します。各自予習を心がけてください。また時折、あらかじめ配布した資料をもとに授業時にプレゼンテーションをしてもらいます。
また少人数なので、欠席の際は事前にメール等で連絡してください。